【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和7年6月17日(2025.6.17)

【国際公開番号】WO2024/090510
【出願番号】特願2024-553127(P2024-553127)
【国際特許分類】
G03F 7/004(2006.01)
G03F 7/11(2006.01)
G03F 7/42(2006.01)
G03F 7/40(2006.01)
H05K 1/03(2006.01)
H05K 3/46(2006.01)
【FI】
G03F 7/004512
G03F 7/11 501
G03F 7/42
G03F 7/40 521
G03F 7/40 501
H05K 1/03 610H
H05K 1/03 630D
H05K 3/46 T

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月7日(2025.4.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
絶縁層を備えるプリント配線板の製造方法であって、
（ａ）基材と積層体とを、前記基材の一方の面と前記積層体の非感光性樹脂組成物の層の表面とが接触するように積層する工程、
（ｂ）前記積層体の感光性樹脂組成物の層にパターン状に光照射して硬化させる工程、
（ｃ）前記パターン状に硬化した感光性樹脂組成物の層とアルカリ性水溶液とを接触させて現像して、前記パターン状の感光性樹脂組成物の硬化物を形成する工程、
（ｄ）前記パターン状の感光性樹脂組成物の硬化物を介して前記積層体の非感光性樹脂組成物の層と有機溶剤とを接触させて現像して、前記パターン状の感光性樹脂組成物の硬化物のパターンに対応するパターンを前記非感光性樹脂組成物の層に形成する工程、および
（ｅ）前記パターンが形成された非感光性樹脂組成物の層を加熱して硬化させることにより前記絶縁層を形成する工程
を含み、
前記積層体が、第一のフィルムと、前記第一のフィルムの一方の面に設けられた、アルカリ性水溶液に対する溶解性または膨潤性を有する感光性樹脂組成物の層と、前記感光性樹脂組成物の層の前記第一のフィルムと接する面とは反対側の面に設けられた、有機溶剤に対する溶解性または膨潤性を有する非感光性樹脂組成物の層とを備え、前記感光性樹脂組成物の層を光硬化させた硬化物層の有機溶剤に対する溶解速度Ａ［μｍ／ｓ］と、前記

非感光性樹脂組成物の層の有機溶剤に対する溶解速度Ｂ［μｍ／ｓ］との比Ｍ＝Ｂ／Ａが７≦Ｍを満たすことを特徴とする、製造方法。
【請求項２】
（ｆ）前記パターン状の感光性樹脂組成物の硬化物を除去する工程をさらに含む、請求項１に記載の製造方法。
【請求項３】
前記感光性樹脂組成物がカルボキシル基含有樹脂および水酸基含有樹脂のいずれか一方または両方を含む、請求項１に記載の製造方法。
【請求項４】
前記非感光性樹脂組成物が熱硬化性樹脂を含む、請求項１に記載の製造方法。